

東京都指定有形文化財

池上本門寺宝塔保存修理工事報告書

例 言

- 一、本書は、平成十九年十二月から平成二十二年三月にかけて行われた東京都指定有形文化財池上本門寺宝塔保存修理事業の一つとして刊行されたものである。
- 二、本書の編集にあたっては、今回の保存修理工事の概要、各種調査事項、工事発見物、関係資料、図面、記録写真を取り纏めて掲載した。
- 三、図面は今回作製したCAD図を掲載し、写真は本事業で撮影した竣工ならびに修理前写真を掲載し、工事中写真や関係資料については主要なものを掲載した。
- 四、「宝塔」の名称は史料によれば本来「多宝塔」と呼ばれていたものであるが、本書では東京都指定有形文化財名称である「宝塔」の名称を用いている。また内部に安置されてある同じく指定名称である「付木造宝塔」については本体の「宝塔」と混同しやすいため、本書では便宜上、「小塔」の名称を用いている。
- 五、宝塔は、昭和四十六年六月から昭和四十八年三月にかけて保存修理が行われており、本書ではその工事を工事が完了した年をとって「昭和四十八年の修理」と呼ぶこととする。
- 六、寸法表示は原則メートル法に拠ったが、本文の中では理解し易いよう寸寸による表示を行ったところがある。なお、尺寸への換算は一尺＝三〇三mmを基準としている。
- 七、本文中の注書きは各項または各文の末尾に示すとともに、それに関する主要な参考文献を示した。

八、本文の編集、執筆などの担当者は次のとおりである。

編集・著作	公益財団法人 文化財建造物保存技術協会
編集	東京副支部長 武藤 正幸
執筆（左記以外）	武藤 正幸
第一章第二節	池上本門寺 安藤 昌就
第三章第二節第十二項の一部	池上本門寺 遠藤 優
第三章第二節第十五項	池上本門寺 本間 岳人
図面作製	技術職員 遠藤 優
図面修正	技術職員 武藤 正幸
〃	技術職員 葉山 加代
〃	技術職員 武藤 正幸
〃	技術職員 遠藤 優
挿図作製	池上本門寺 本間 岳人
〃	池上本門寺 高山 和弘
挿図提供	池上本門寺 小川 保
〃	清水建設株式会社 小川 保
〃	専門職員 小川 保
写真撮影	写真提供 佐藤 之彦
修理前・竣工	有限会社スタジオ・ファースト 工事関係者 佐藤 之彦
工事中写真	工事中写真 工事関係者 佐藤 之彦
九、工事実施にあたって東京都教育庁、大田区教育委員会にご指導をいただいた。また、工事全般にわたる調査や本書執筆にあたって次の方々にご教示や資料提供をいただいた。ここに記して改めて感謝申し上げます。（順不同、敬称略）	池上本門寺 安藤 昌就
文献資料	池上本門寺 本間 岳人

目 次

第一章 概 説……………1

第一節 修理工事の概要……………1

第二節 池上本門寺の沿革……………2

第三節 宝塔の概要……………4

第一項 文化財の指定……………4

第二項 主要寸法と構造形式……………4

第三項 宝塔の建立と後世の修理……………9

第二章 事業の概要……………15

第一節 事業と工事の経過……………15

第一項 事業に至る経過……………15

第二項 工事の経過……………15

第三項 事業関係者……………16

第四項 実施工程表……………18

第二節 事業費内訳……………18

第三節 工事の内容……………19

第一項 工事の概要……………19

第二項 工事実施仕様……………19

第三章 調査事項……………34

第一節 破損状況……………34

第二節 技法調査……………36

第一項 平面寸法と平面計画……………36

第二章 基礎……………36

第二項 軸 部……………37

第三項 組 物……………41

第四項 軒廻り……………45

第五項 小屋組……………46

第六項 屋根・野地……………46

第七項 床組・縁廻り……………49

第八項 造作・柱間装置……………49

第九項 金 具……………51

第十項 塗 装……………58

第十一项 小塔・木製蓮華座……………68

第十二項 番 付……………72

第十三項 彫 刻……………74

第十四項 地盤調査……………76

第十五項 現状変更……………78

第三節 第一回目現状変更……………78

第二項 第二回目現状変更……………79

第四章 史 料……………83

第一節 棟 札……………83

第二節 発見墨書……………84

第三節 古文書……………85

第四節 石 碑……………89

第五節 古写真・古図……………90